

記入例（貸与/転学）

提出前に記入欄れや誤記入がないか確認のうえ、記入欄は速やかに転出校へ届け出てください。
※本人署名欄および人的保証記入欄以外は学校で記入または印字しても構いません。

[様式 6]

転学奨学金継続願
 (同一学校内での転学)※旧籍入学の1の扱いを含む

貸与

①提出日
 ・奨学金が転出校へ届け出た日付を記入してください。

②氏名(自署)
 ・必ず奨学生ご自身が記入してください。

独立行政法人
 日本学生支援機構

③奨学生番号
 ・11桁で正確に記入してください。

提出日※1	西暦 2026 年 4 月 20 日
生年月日	西暦 2005 年 10 月 1 日 (満 20 歳)
フリガナ	イナヱ タロウ
氏名(自署)※2	育英 太郎

※本人氏名の押印欄は、「変更後の借入金額」を訂正する場合のみ必要です。

奨学番号	8 2 X 0 8 X X X X X
------	---------------------

併用貸与の者はそれぞれの奨学生番号ごとに「転学奨学金継続願」を作成し提出が必要

学校名	育英専門学校	学部・学科(課程・研究科)	コミュニケーション学科	学年・卒業予定期※4	第 2 年次	転学年月日※5	(西暦) 2026 年 3 月 31 日
転出校	育英専門学校	学部・学科(課程・研究科)	コミュニケーション学科	修業年次	4	当初の卒業予定期	(西暦) 2028 年 3 月
転入校	学生支援専門学校	学部・学科(課程・研究科)	キャリアデザイン学科	修業年次	4	卒業予定期	(西暦) 2028 年 3 月
学籍番号	20220101	全定通	<input checked="" type="checkbox"/> 昼 <input type="checkbox"/> 夜 <input type="checkbox"/> 通信	学部コード(学校記入)	5 0 9 0		

※昼夜開講は昼を選択
 ※学籍番号は学籍番号を記入してください

※ 当初の返還誓約書で誓約した借入金額より増額する方(卒業期延長など)は以下の項目も記入してください。(併給調整中の第一奨学金を除く)

貸与と総額が増額する場合は記入(貸与期間(終期)の延長等)

変更後の借入金額(予定・総額)※6

3 6 0 0 0 0 0 0 円

※本願書に記載された変更後の借入金額が予定する借入金額を上回っている場合は、貸与月額及び貸与終期から算出される借入金額を正しい金額として取扱います。

④転出校情報

- 転出する学校名と学部学科等の名称およびその課程の年数(何年制)を記入してください。
- 転出時における年次および卒業予定期を記入してください。
- 最終在籍年月日を記入してください。

⑤転入校情報

- 転入する学校名と学部学科等の名称およびその課程の年数(何年制)を記入してください。
- 転入時における年次および卒業予定期を記入してください。
- 在籍開始年月日を記入してください。
- 転入校での学籍番号を記入してください。
- 転入校において在籍する課程(昼間、夜間、通信)に該当する項目に✓を記入してください。

⑥変更後の借入金額(予定・総額)

※借入金額が増額する場合は必ずご記入ください。

- 以下に該当する場合は原則、「変更後の借入金額」の記入が必要です。
- 修業年限の延長に伴い貸与終期が延長となる場合
- 同学年に転学し、貸与終期が延長となる場合
- 転学と同時に貸与月額の増額をする場合

※連帯保証人・保証人は正しい欄への記入が必要です。

逆に記入した場合は新しい様式への書き直しをお願いします。

(例)本事例では貸与月額5万円の奨学金が転学先で月額を10万円に増額する場合は想定しています。

- 月額5万円の貸与期間 →2024/4~2026/3(24か月)
- 月額10万円の貸与期間 →2026/4~2028/3(24か月)

(5万円×24か月)+(10万円×24か月)=360万円

保証人

連帯保証人の氏名(自署) 住所 東京都新宿区中谷本町10-7 電話番号 080-0000-8888

育英 志雄

保証人の氏名(自署) 住所 東京都日根区駒場 4-5-29 電話番号 090-0000-9999

育英 咲子

関係保証 今後貸与を受ける奨学金の保証を、引き続き公益財団法人日本国語教育支援協会に委託しますので、保証料は貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構が差し引いて同協会に支払うこととさせていただきます。

親権者又は未成年後見人(本人が未成年者の場合のみ記入)の者が、現在貸与を受けている奨学金について本用紙を記入することに同意します。

⑦保証制度・人的保証記入欄

- 選択している保証制度に✓を記入してください。
- 人的保証制度で「変更後の借入金額」が増額となる(⑦の記入を要する)場合、「連帯保証人・保証人の自署・実印及び印鑑登録証明書の添付」が必要です。

赤枠内は学校の記入・証明欄のため、本人記入は不要です。

転出校記入欄 休学中(転出校で休学中の場合休学日を記入) 休日: 20 年 月 日

転入校記入欄 理工農系 ※私立学校の本 休学中(転出校から引継ぎ休学) 月額変更 同封(様式2) 振込口座変更 同封(様式4)

上記のとおり、転学により本学から転出したことを証明します。(転出校の証明) 2026年 4月 16日

育英専門学校 育英 太郎

上記のとおり、転学により本学に転入したことを証明し、本願書は適当と認めます。(転入校の証明) 2026年 4月 25日

学生支援専門学校 機構 次郎

返還誓約書継続提出(☑記入)	電話番号(担当者名)	03 - XXXX - XXXX	学校番号	5XXXX	区分	00
		(〇〇〇)				

電話番号(担当者名)	03 - △△△△ - XXXX	学校番号	6XXXX	区分	00
	(XXX)				

ご記入いただいた情報及びおからの奨学金に関する情報は、機構の奨学金実施業務、奨学金貸付業務(返還業務を含む)及び転学する学校での奨学金継続業務のために利用されます。この利用目的の範囲を超えて、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び関係機関等に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。情報提供先等については、機構が所在する個人情報から保護管理に必要と認められる範囲に限定されます。また、情報提供及び保証人等から奨学金の非返還等の発生に際しては、保証人等による当該情報の提供が保証の責任を負うものとさせていただきます。